

はじめに

2013年12月15日、第4回医療通訳を考える全国実践者会議が関西医科大学にて開催されました。年末の寒い日であったにもかかわらず、全国各地・海外からも多くの方が参加され、医療通訳の現在、未来について熱い議論が交わされました。この「医療通訳を考える全国実践者会議」は全国の医療通訳の養成や派遣を行う団体、医療者、通訳者など、外国人医療にかかわるさまざまなステークホルダーが集まり、議論する画期的な会議です。

第1回目の開催から約8年がたちますが、この間に医療通訳を取り巻く社会的環境は大きく変化しました。行政やNPOや企業が連携した通訳者の養成や派遣、医療機関での通訳者の育成、病院が通訳者を雇用するなど、多様な取り組みが行われるようになりました。そうした動きに合わせて、2010年第3回目の会議では全国の医療通訳者の養成や派遣にかかわる団体が京都に集まり、医療通訳者の養成の指針となる「医療通訳共通基準」を策定しました。

第4回目の実践者会議では、国レベルで外国人患者の受け入れ整備、通訳環境整備が進められつつある中、今後求められる制度づくり、環境づくり、通訳整備に焦点を当て「医療通訳の現在・未来を考える」と題して開催いたしました。全体会ではスイスやアメリカなどの移民国家が如何にして通訳認定制度をつくったのか？その取り組みを詳しく紹介しました。分科会では地域医療から先端医療まで、外国人患者を受け入れている医療機関の取り組みや今後の展望について議論した「国際化する医療現場の現状と展望」、質の高い通訳を養成するための各地域の取り組みについて議論した「医療通訳の質とは」が行われました。また、ワークショップでは第2回でも取り上げた「制度」、「通訳」、「医療」の3つのテーマで、事業運営者、通訳者、医療者の視点から医療通訳、外国人医療について実践者間で議論が交わされました。

2020年の東京オリンピックの開催が決まり、医療体制において多言語対応の必要性が改めて注目されるようになり、国、自治体、民間の医療通訳に関連した動きはさらに活発になってきています。医療通訳の必要性の議論は今始まったことではなく、外国人労働者が増加した90年代から「通訳整備が必要である」と言われていたましたが、これは支援者間での認識でした。今回オリンピックというきっかけではありますが、医療通訳の必要性に対する社会的認知が進み、それによって医療現場も影響を受けていくのではないかと考えています。

医療通訳のあり方については、今後より一層話し合われていくでしょうし、国レベルの制度づくりも始まっていくことでしょう。いづれにせよ、利用者にとって役立つ制度であり、役立つ医療通訳の養成が必要です。今回全体会ではこうした医療通訳に関連した動向に注目し、通訳認定制度や通訳者の育成、制度の運用方法など移民国家における先進事例を取り上げました。特に移民国家であるスイスでは、医療通訳者の養成、認定、運用（派遣）の制度を構築し、10年に渡って運用しています。制度構築の際には綿密な現状調査、分析を行った上で、認定制度を立ち上げています。スイスの特徴は通訳者の認定を行うだけでなく、派遣団体の認定、通訳育成団体の認定も行い、育成、派遣、運用を連動させた制度を構築しています。こうした国外の取り組みは、これからの日本での制度づくりのよきお手本となるのではないかと思います。

本会議の紹介された事例やトピック、議論が「医療通訳の未来」に何らの形でお役に立てることができれば幸いです。

最後に、スイスでのヒアリングで大変お世話になりましたラムサワーまさよ様、本会議開催にあたり、ご尽力いただきました関西医科大学西山利正教授に心より感謝申し上げます。

(多文化共生センターきょうと 代表 重野亜久里)

もくじ

第4回医療通訳を考える全国実践者会議報告書

はじめに	1
第4回医療通訳を考える全国実践者会議「医療通訳の現在・未来を考える」開催概要	5
プログラム	
概要・プログラム	6
全体会「移民国家はいかに通訳認定制度をつくったか？ - 移民国家における通訳認定の取り組みから学ぶ -」	
「ヨーロッパにおけるコミュニティー通訳の現状 - 国際コミュニティー通訳会議「InDialog」報告	10
「カリフォルニア州における認定通訳制度（CommuniCal Program）」	14
「スイス連邦における通訳認定制度」	19
Question（質疑応答）	33
医療通訳分科会「医療通訳の質を考える」	
「医療通訳の質とは？」	38
パネルディスカッション「質の高い通訳者を育てるには」	51
配布資料：各団体の事業概要比較、通訳研修比較	62
配布資料：研修カリキュラム、各団体の研修会、講座開催チラシ	65
医療分科会「多様化する医療の現状と展望」	
「国際化の進む神奈川での診療所と地域の取り組み」	70
「滋賀県医療通訳ネットワークの取り組み」	75
「ケアとしての通訳 - 京大病院「Ask me！ナース養成プラン」 - 」	82
「メディポリスがん粒子線治療研究センターの取り組み」	89
Question（質疑応答）	92
パネルディスカッション「多様化する医療の現状と展望」	95
Workshop	
「医療通訳制度を創るには？如何にしてつながる（連携）・育てる（育成）・制度化するか」	102
「本音で語り合おう私たち（通訳）のこと」	110
「医療従事者に求められる異文化間能力とは？」	114
資料	
コミュニティー通訳（多文化間通訳）養成モジュールI	132
コミュニティー通訳（多文化間通訳）養成モジュールII	137
スイス連邦における医療機関の通訳利用とその効果	142
アンケート集計	145